

政策委員会 緊急 Web セミナー

一般社団法人北海道中小企業家同友会
事務局 TEL:011-702-3000

『コロナ大不況はいつまで続くか』

情勢を正しく認識し、中小企業の経営課題を考える

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、中小企業は売上高が激減するなど資金繰りが死活問題になっています。仮に今後半年や1年の資金繰りが手当てできても、この経済状況が長期化すれば、多くの中小企業は厳しい財務状況に陥ってしまいます。無利子・無担保での融資も返済しなければならず、経営資源に限りのある中小企業に対する支援策としては十分ではありません。先行きが不透明だからこそ、社会情勢を正しく理解したうえで、今後の経営戦略を考えることが必要不可欠です。

立教大学の山口義行名誉教授に「コロナ大不況」の見通しを読み解いていただくとともに、現実的な中小企業支援策である『永久劣後ローン』(※)について解説していただきます。

「リーマン・ショック」以上とも言われる「コロナ大不況」での経営課題について、ともに考えます。

【講師】

立教大学 名誉教授

中小企業サポートネットワーク(スモールサン) 主宰 山口 義行 氏

<プロフィール>

1951年名古屋生まれ。

立教大学経済学部卒業。立教大学経済学研究科博士後期課程単位取得退学。東邦学園短期大学専任講師。名城大学商学部専任講師を経て、1993年4月より立教大学経済学部助教授。2001年4月より2017年3月まで同教授。2017年4月より現職。



【聞き手】北海道同友会 政策委員長 本田 哲 (本田興業㈱ 代表取締役/倶知安町)

※『永久劣後ローン』

中小企業に対して返済期限を定めずに資本注入することで中小企業を支援する制度。

住友信託銀行の元社長で、三井住友信託銀行名誉顧問の高橋温氏が提唱。

■日時：6月19日(金) 14:00~15:30

参加無料

■会場：YouTube ライブ配信

※ライブ配信アドレスは後日連絡いたします。

札幌会場

(札幌市東区北6条東4丁目1-7 デ・アウネさっぽろビル13階 大久保記念ホール)

※札幌会場での参加は先着30名様とさせていただきます。予めご了承下さい。

■協力：中小企業サポートネットワーク (スモールサン)